

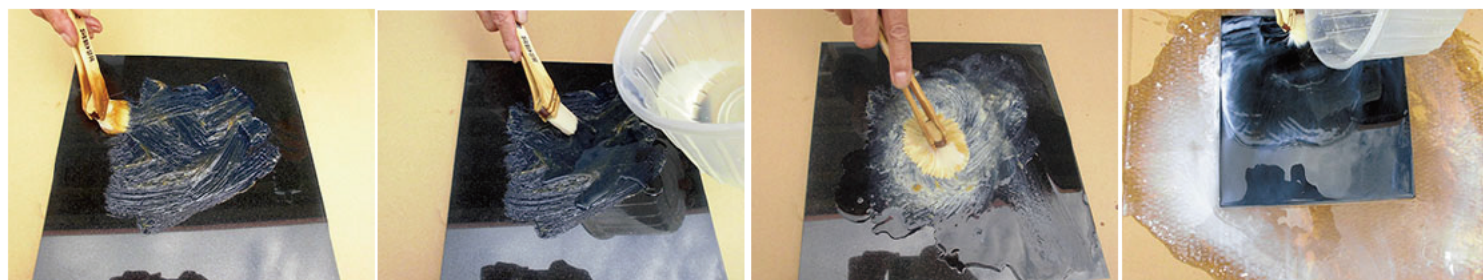
重油汚れ、グリース汚れ、重度の油汚れ等油汚れを除去

Oil remover (A9)

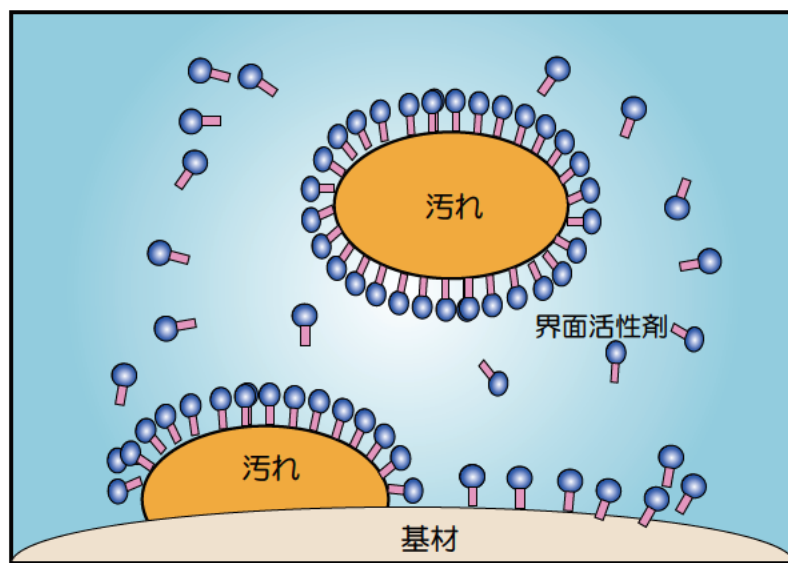
油汚れを除去します

従来、油汚れはアルカリ洗剤を使用していますが、重油、グリース等の粘度が高い場合は、除去できませんでした。油がアルカリと接すると“乳化”現象が起こり油が白濁し水と混ざるため洗浄されると考えられています。しかし、重度の油の場合この現象が不完全であり除去ができません。これはアルカリを高濃度にしても同様です。Oil remover は、アルカリ中に多種（HLB 値の異なる）の界面活性剤添加することにより下図の様に重度の油も完全に乳化させることができ完全除去が可能です

【御影石にグリス油を塗布し、オイルリムーバー A9 を塗布し、刷毛で擦り、水をかけ洗い流す事が出来ます。】



油汚れを乳化させ、汚れを洗い流すメカニズム



元来、水と油は相反し分離しますが界面活性剤を添加すると混ざるようになります。重度の汚れ（油）の表面に界面活性剤が付着し、基材から汚れが離れます。重度の汚れの場合界面活性剤で被われた汚れがくなり、白く見えます。これが乳化現象です

界面活性剤

親油基（油になじむ部分）
親水基（水になじむ部分）

Oil remover の特徴

油汚れはアルカリ洗剤を使用しますが、重油、グリース等の粘度が高い場合は、除去できませんでした。油にアルカリと接すると“乳化”現象が起こり、油が白濁し水と混ざるため洗浄されるます。しかし、重度の油の場合この現象が不完全であり除去ができません。

Oil remover は、アルカリ中に多種（HLB 値の異なる）の界面活性剤添加して重度の油も完全に乳化させることができ完全除去が可能です

缶にグリスを塗布してから、オイルリムーバーを塗布し水をかけると乳化します。水をかけ洗い流します。



施工方法並びに取り扱い注意

1. 材料比重 0.96 kg/m³

2. 標準使用量

刷毛等 250～350 g/m²（標準施工 1-2 回塗り）

汚れが重度の場合、塗布量が多く必要なときは、数回（2-3）に分けて作業を行って下さい。

3. 適応基材

重油汚れ、グリス汚れ、重度の油汚れ等油汚れ除去

4. 希釈量 基本的には希釈なし、但し希釈は可能

5. 使用塗布方法 ローラー、刷毛

6. 標準施工手順 ローラー、刷毛共

工程	商品名	塗布回数	塗布量
	A9	1 回	250-350 (g/m ²)

素地調整 汚れ面に A9 を塗布し、刷毛で擦る。その後、擦りながら水をかける。

7. 商品荷姿 2ℓ、4ℓ、16ℓ

8. 施工上の注意

※ 施工に際してはマスクと手袋、メガネを使用してください。

※ 1：使用器具は、刷毛、ローラー（水性）を使用してください。

2：施工終了時に、ローラーを水で洗浄してください。

※ ■施工環境

1：周囲に車両や植栽及び建物などがある場合、注意して下さい。

※ ■保管上の注意

1：火気厳禁

2：水性ですが子供さんの手が届かない所に保管して下さい。

3：直射日光を避けて保管してください。

4：製品の有効期限は出荷後6ヶ月です。

※ ■応急処置

1：目に入った時、直ちにきれいな水で洗浄し、病院で診察を受けてください。

2：皮膚についた場合には石鹸等で洗い流して下さい。

3：作業終了時に手洗いとうがいをしてください。

※ ■その他の注意

SDSを参照の上、お取り扱い下さい。

Oil remover



2ℓ、4ℓ、16ℓ